



第一地区社協だより

発行 沼津第一地区社会福祉協議会
事務所 〒410-0863 沼津市八幡町 65-1

発行日 平成 27 年 9 月 1 日
電話 055-963-5088

第3号

平成 27 年度 第一地区社会福祉協議会企画委員

役 職	氏 名	備 考
地区社協会長	小 栗 敬	前連合自治会長
企画委員長	佐 藤 清 治	コ ミ 事 務 局 長
企画副委員長	佐 藤 重 雄	民生・児童委員代表
企画委員	渡 辺 文 代	民生・児童委員
"	三 井 長 次	保 護 司 会
"	神 尾 敏	連 合 自 治 会
"	鎌 野 順 市	連 合 自 治 会
"	塩 沢 直 美	コ ミ カ レ
"	常 山 美 穂 子	コ ミ カ レ
"	荒 井 義 夫	青少年育成部長
"	望 月 ふ み え	婦 人 部 長
"	川 島 ひ ろ み	健康づくり推進委員
"	中 條 厚 子	生涯学習推進委員
"	山 下 和 代	教育文化部長
"	加 藤 和 幸	社会福祉部長
"	渡 邊 勝 代	地区センター代表
"	土 井 規 生	万年青大学代表

6月12日(金)に、第一地区センターにて、登山家・医師である今井通子さんを講師としてお迎え、「テレビ寺子屋」の公開収録が開催されました。今井さんが挑んだ世界の高峰の数々を、写真を使って紹介され自然から学ぶ「自然は、人間の動物である部分を復活させる力がある」とい



今井通子さん

テレビ寺子屋 世界初の欧州三大北壁完登！

講師 今井 通子さん

う力強いお話に、皆引き込まれていました。

また、「森林浴」の癒やしの効果が、科学的にも実証され、森林浴セラピーの活動も熱心にされているお話も興味深いものでした。当日は多数の参加を頂き、今井さんにパワーをもらい、充実した講演会となりました。

今回録画した内容は平成27年10月4日・10月18日朝6時30分7時00時分「テレビず」で放送されます。

教育文化部長 山下 和代



4月上旬 趣味の教室開設
瞬間防犯ボランティア募集
5月13日 あいさつ運動
6月12日 テレビ寺子屋
6月21日 出前講座
6月26日 脳トレクッキング
8月23日 みんなで遊ぼう
9月27日 健康作り講座
10月12日 管理運営委員会
10月23日 脳トレクッキング
10月25日 健康作り講座
10月23日 防災講座

教育文化部
下校時の児童の見守り
登校時の児童の声かけ(民生児童委員)
今井通子女史講演
救急救命講習
千本包括支援センター協働
社会福祉部
男の料理教室
地区センター集中清掃日
千本包括支援センター協働
男の料理教室
「クロスロード」研修

地区センター
第一校区全体
一小校門
地区センター
地区センター
地区センター調理室
地区センター
地区センター調理室
地区センター
地区センター調理室
地区センター調理室
地区センター

今年度10月までの活動報告と予定です



以上の内容ですが、これらのボランティアに防犯グッズが配られました。防犯安全部長の写真の通り、帽子・ステッカー・グリーンのベストなどです。朝のあいさつ運動と同様に、できるときに、できる範囲で、できることを、心がけて、地域の防犯活動に協力をお願い致します。

- ①自宅にて登下校時の見守り。
- ②大の散歩で防犯パトロール。
- ③ウォーキングで防犯パトロール
- ④配達をしながら防犯パトロール
- ⑤自転車でお出かけしながら防犯パトロール

地域のつながりが薄れた昨今、地域の安心安全のために、瞬間ボランティアを募集したところ、各町内から合計38人の方が登録して下さいました。

「地域の子供は地域で守る」
瞬間防犯ボランティアの活動始動

救急救命講習会開催

心肺蘇生法・AEDの使用法など

6月21日(日)救急ワークス
セッションから講師が見え、普
通救命講習1の出前講座を行
いました。

この講座では地震・津波対策・
HUGをやり、84人の出席で
した。

その講座にもとづいて今回は
救命の手順を学習しました。

4班に分かれ、はじめに倒れ
ている人に意識の確認をする。
反応がない場合救急車・AED
の手配をお願いする。到着する
までの対応で呼吸の確認、30



地域活動を活性化させるために

第一コミ副会長 加藤和幸

公開福祉講演(地域づくりの知
恵を共有する)を受講しました。地
域活動を活性化させるためには
地域づくりの5つのステップ、①
知る②考える③つなげる④動く⑤
拡げるです。知るとは、実際に街を
歩いて確かめる。街を知るともつ
と好きになる。考えるとは、どんな
街にしたいかを自ら考え話し合
う。その中でアンケートにより個
人の困りごとを知ることが第一
歩。できることのメニューを出し、
優先順位をつけること。つなげる
とは、仲間づくり。「何かの形で地
域に貢献したい」と思っている人
は、案外多く近くにいる。そのきつ

など誰にもできる簡単な操作で
す。救急車が来るまでの間こうし
た適切な処置をすることで人の命
を救う確率が高まります。大切
なことは、倒れている人に勇気
を出して声をかけることだと感
じました。

1 ふたを開け電源を入れる。
2 電極を貼る。
3 電気ショックが必要な場合は
放電ボタン押す。

放電ボタン押す。

〈受講者の感想〉

呼吸も心臓の動きも停止して
しまった、と思われる人への心
肺蘇生法が、救急車が来るまで
の約8分間現場に居合わせた人
に託された生死を左右する救命
活動であることを実感させて頂
きました。

かけをつくり、開かれた組織を心
がける。動くは、小さくはじめて改
善し続けること。拡げるとは、より
広域へ展開していくこと。その
リーダーは、人を信じ楽しくやる。
そして聴く人になることが必要で
す。意見の違いこそ活動のエネル
ギーとなります。信頼関係をつく
ることが、人材発掘のベースにな
ります。各種委員・イベント参加
者の常連・自治会輪番の役員など
人材は近くにいます。今後とも、地
元をよく知り、課題を探り、焦ら
ず、あだやかに、でも諦めず取り組
み、第一地区の活性化に参加して
行きたいと思えます。

防災部長 杉本 孝

神尾 敏

脳トレクッキング

いい料理ができあがり、夢のある食
卓になりました。
次回は10月の予定です。

脳トレクッキングとは、いつも
の食材を使って、作ったことのない
料理に挑戦することです。それ
が脳の活性化につながることで
す。第一地区社会協議会と千本包括支
援センターの共催で行いました。
参加者は15人、各テーブルに置
かれた16品目の野菜、果物、海
藻など。これを全部使い切りそれ
ぞれのグループで料理の相談をす
る。メインの食材は、くしびきで
鮭・鳥もも・豚肉に決まる。それ
ぞれに脳を働かせ、手早くおいし



みんなで遊ぼう

「みんなで遊ぼう」が、8月23日に地区センターにて開か
れました。社会福祉部が毎年夏休みに企画しています。71
名(内小学生以下40名)の多くの皆様に参加していただき、
ありがとうございました。木工細工では、お城や船・恐竜な
どが作られ、色も塗られていました。色とりどりのビーズで
ブレスレットやネックレスが作られました。黄色の包装
テープでピカチュウが、アイスのスプーンでへびが出現し
ました。また、紙風船飛ばしでは、お菓子の賞品を狙い、力
いっぱい飛ばします。最後は、調理室で一流料理人の手によ
る「そうめん」が待っています。特につゆが絶品でした。木工
細工には、帆船模型造りを趣味とされる4名の応援をいた
だきました。ビーズでは2名の先生からご指導をいただき
ました。お忙しい中ありがとうございました。今後よろし
くお願いします。



今後とも、夏休み中の親
子・祖父母と孫の楽しい対
話の場を届けることがで
きるようコミュニケーション
を活性化させ活動して
いきます。